

春の彼岸によせて

平成二十四年三月 大乘寺 住職 岡 光俊

思い込みと、決めつけの人生を歩んでおられませんか。

お経を頂いて、自分の生き方を自分で改善し、毎日成長できる活きた日々にしましょう。

最近、お話を聞かせて頂いて、なんと勿体ない人生を歩んでこられたことかと思う出会いがありました。

親から「あなたには、なにもできない子だから」といい続けられ、自分はなにもできない人間と思ひ込み、親も子供ができないと思ひ込んでいるからなにもさせない。親がなんでもしてしまうので、そのうち子供は、自分はしなくても周りがしてくれるからに変化し、結果、なんにもできない、なんにもしない人間になってしまわれました。

この原因は、親の無知と思ひ込みからです。そのような親が増えたのは上っ面の情報のみが多くなり、隣人との深い交流が少なくなり、生きて人として身につけなければならぬこと、考えかたや物事の受け取りかたが解らないまま、過ごしてこられたからだと思われまます。

不都合なことが起こると、相手を責める、物に当たる、怒る、いわけをする、知らない振りをする。このような思ひ違いも、家庭、職場、社会のあらゆる生活の場で日常的に目にし耳にするものです。

人としての成長を止める因子は、身近な日常生活の中に潜んでいるものです。

習慣化して気づき難い日常を振り返りチェックするためにお経を手に、毎日ご先祖さまと向き合っ見て下さい。不思議なほど自分の間違いが浮き彫りにして頂けます。

怒ること、相手を責めることが、自分の成長を大きく妨げる行為であると気づけたら、その日から改めましょう。

自分の成長にブレーキを踏んでいるのは自分以外にいません。

お経はこのようなことをも気づかせて下さるものです。

春の彼岸、今一度ご先祖さまに向かいお経を頂きましょう。

合掌